



ねむのき 3月号



2023. 2. 28

高松市立塩江小学校

日差しのあたたかさに春が近付いていることを感じます。

あと17日で令和4年度が終わります。保護者の皆様の本校の教育活動へのご理解とご協力、そして、地域の皆様のご支援に深く感謝しております。

子どもたちは、学習のまとめや年度末の行事に向けての準備を行っています。これからの時代に適合するよりよい教育活動が行えるよう、全教職員で共通理解を図りながら来年度の準備をしています。塩江小らしい特色を生かした教育活動ができるよう工夫してまいりますので、来年度もご理解とご協力をよろしくお願いいたします。(須田)

「合理的配慮」について④

(シリーズでお伝えしています。バックナンバーは、HPをご覧ください。)



「発達性読み書き障害（発達性ディスレクシア）を御存知ですか？」のちらしをPTAメールで配信させていただいています。ぜひ、閲覧期間内にお読みください。お子様の様子を見ていて、ちらしにあるような、読むことや書くことが苦手かな？と思うことはありませんか。塩江小学校では、効果的な支援方法を保護者や本人と相談しながら、行っています。まずは気づくことが大切です。担任が苦手に気づいて、効果的な支援方法を保護者の方にご相談させていただくこともあります。本人の負担を軽くすると、安心して生活できるようになり、落ち着いて学習に取り組めるようになります。

「宿題をなかなかしない」「まったく勉強に対する意欲がない」「学校に行くのをいやがる」等の原因に読み・書きに対する苦手や困難がひそんでいることもあります。子ども本人が安心して、落ち着いて学べるための支援方法をいっしょに考えますので、気になることがあれば、ぜひご相談ください。



2月10日に、ねむのき学習発表会が行われました。3年間オンライン開催でしたが、今年は、対面式で行いました。1年生から6年生までが続けて発表をしたり、会場の外でねむのき学習で栽培したそば粉や作成したグッズを販売したりと、開催方法を変更をさせていただきました。販売した売り上げは、今後のねむのき学習活動で活用する予定です。ご協力、ありがとうございました。

